

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

ジャグラは一般財団法人日本情報経済
社会推進協会指定のプライバシー
マーク指定審査機関です



GS

No.796
2018
03



■ 巻頭企画

テーマは「アライアンスNEXT」

page2018見てある記

■ 特別企画

JIS改正に伴うPMS変更の留意点②

PODを使った商品開発

— 全国協議会事例紹介②

■ 連載・シリーズ

温孔知新 Topics

— アートの世界で注目される謄写印刷の技法

■ NEWSとお知らせ

亥年 年賀状デザインコンテスト募集開始

4.21 SPACE-21総会のご案内

— 特別セミナーおよびコニカミノルタ見学ツアーを同時開催

2.10 PrintNext2018に600人が参加



ジャグラ HP にて
本誌 PDF 版を公
開中。PDF 版は紙
媒体より約1週間
早い毎月中旬頃に
ご覧いただけます。



なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。会長の中村耀です。2月末まで開催された平昌オリンピックで日の丸が掲げられると、やはり心が躍りました。金メダルを獲得する選手は、一分一秒も無駄にせず日々努力を重ねてきたからこそ、その栄冠を手にしたのだと思います。しかし、オリンピックに出られなかった人やメダルを取らなかった選手達が努力をしていなかったわけではありません。同じような努力を重ねてきたことを忘れてはいけません。

それではオリンピックに出場し、メダルを獲得できた選手は何が違ったのか。その差は、覚悟と努力、そしてとことんやりきる意志につきます。バシュート決勝で日本選手が見せたワンラインは非常に素晴らしいものでした。あれだけの隊列を組めるようになるには、紆余曲折があったと思います。勝とうとする強い意志をそのまま表したような統率のとれたワンラインを見て、私たちジャグラも決めたことにワンラインで突き進んでいきたいと改めて感じました。

C・O・N・T・E・N・T・S

● 巻頭企画

02 JAGAT主催の印刷展 テーマは「アライアンスNEXT」 page2018見てある記

概要、デジタル印刷システムの競演、オフセット印刷関連、工程管理・ワークフローと検査装置、広がる小型の後加工システム、まとめ

—— (株)パリュマシーンインターナショナル 宮本泰夫

● 特別企画

08 全国協議会事例紹介② PODを使った商品開発

—— (有)高田紙器製作所 高田照和

12 JIS改正に伴うPMS変更の留意点②

—— 規格本文の概要と附属書A

● 連載・シリーズ

23 需要創出を考える⑦

ヘアサロンビューティアトリエグループ イメージリニューアル計画

—— (株)みやもと (栃木) 代表取締役 宮本 誠

29 温孔知新 Topics

—— 神崎智子 謄写印刷版画個展「描く版画」

● NEWSとお知らせ

01 2019亥年 年賀状デザインコンテスト

—— 今年はバースデーカード部門を新設

09 2.2 ドローン活用セミナーに35名が参加

—— SPACE-21石川主催

11 ジャグラBB HOTNEWS

14 4.21 SPACE-21総会のご案内

特別セミナーおよびコニカミノルタ見学ツアーを同時開催

20 議事録抄録 ジャグラ諸事業の進捗状況

—— 第四回理事会報告より (全国協議会報告以降分)

26 業界の動き

2.10 PrintNext2018盛況

大阪の地に600人が集う! ほか

18 優良従業員表彰のご案内

22 書籍案内/コラム

21 本誌・印刷製本委託業者募集案内

28 ジャグラ スケジュール表

年賀状 デザイン コンテスト 第六回

ジ
ヤ
グ
ラ



カラー部門 モノクロ部門 学生部門 喪中案内部門 バースデーカード部門

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 (略称ジャグラ) は、2019年の干支である亥 (イノシシ) や縁起物をあしらった年賀状デザインコンテストを実施し、優秀作品を表彰します。募集部門は「カラー部門」「モノクロ部門」「学生部門」「喪中案内部門」「バースデーカード部門」で、賞金総額は80万円 (表彰100点)。選出した優秀作品はジャグラ会員企業の年賀状ビジネスに無償でお役立ていただきます。皆様奮ってご応募ください。

賞金総額 **80万円**。

カラー部門最高賞5万円×1点、モノクロ部門最高賞5万円×1点、学生部門最高賞3万円×1点、協賛企業賞1.5万円×11点、バースデーカード賞1万円×3点など、計100点を表彰!

●募集 4.2_[月] ~ 6.15_[金] ●発表 7.19_[木]

コンテスト特設サイトで最新情報をご案内いたします

<http://www.jagra.or.jp/nenga2019/>

●主催 一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会

●協賛 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)、コニカミノルタジャパン(株)、(株)ショーワ、(株)モリサワ、(株)ムサシ、リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)、キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)、ダイマミック(株)、富士ゼロックス(株)、富士ゼロックス東京(株)、リコージャパン(株) 2018成年協賛企業

特設サイト
4月2日
オープン



page2018 見てある記

JAGAT主催の印刷展 テーマは「アライアンスNEXT」

(株)バリューマシーンインターナショナル 取締役副社長 宮本 泰夫

概要

2018年2月7日から9日までの3日間、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンター TOKYOにおいて、毎年恒例となったJAGAT主催の印刷展示会「page2018」が開催された。今回のテーマは「アライアンスNEXT」とされ、次のステージへのアライアンスを考える展示会と位置付けられた。展示会については、今回も3つのホールを利用して開催された。昨年よりスタートした「印刷パートナーゾーン」は、その規模を大幅に拡大して実施された。自社にはない、あるいは自社では苦手としているサービスを持つ印刷会社をパートナーとして新たなビジネスやサービスを創造しようという取り組みである。

また、展示会場では、デジタル印刷機の復権と検査装置の多さが目立ったように見える。昨年はデジタル印刷機の出展はブースの後ろに影を潜め、加工と連動したサンプルの展示が多く見られたが、今年は新機種の出展を含め、デジタル印刷機器を前面に出し、その機能を存分に訴求する出展が多く見られた。一方、検査装置については、効率化に加え、近い将来訪れるであろう自動化や省人化という流れの中で、製品検査、色検査などの認識機能は大きなキーワードになることが予測され、そういった背景のもとで各社が取り組ん

でいるものと思われる。

page2018は、出展社161社（前年145社）、出展規模546小間（同510小間）、来場者6万6210人（同7万1910人、前年比92.1%）という結果となった。出展社数、出展小間数は前回は上回る一方で、来場者数は減少したが、ホール内、各出展者のブースプレゼンテーションにも多くの来場者が訪れている印象であり、足元のビジネスに対するヒントを多くの方が意欲的に求めたことがうかがえる。

デジタル印刷システムの競演

page2018では、各社からデジタル印刷システムの新機種が次々と投入され、出展ブースの前面に出展された。page展では、会場の都合から大型機の出展ができないため、小型機中心の展示となるが、小型デジタル印刷機のトレンドとしては、高付加価値化の流れがある。オフセット印刷機と同等の品質を実現する、あるいは幅広い用紙に対応するなど、性能面での改良や生産性の向上などは一段落し、近年は多色機の出展による特色利用や、長尺紙への対応などオプション的な開発が中心となっている。

特色利用については、多くの機種がホワイト、クリア（透明）をサポートし、金、銀などのメタリック、

来場者が減少したようには見えない
混雑した展示ホールDの様子



実機初出展となるFFGSの
Iridesse Production Press



Iridesse Production Pressは
プロセス4色の前後に特色が入る6色配置



リコーの新機種 RICOH Pro C7210sは
2色の蛍光トナーとホワイト、クリアを搭載



1300mmの長尺紙に対応する
コニカミノルタの新機種 AccurioPress C6100



キヤノンの産業用大判インクジェット新機
種 Océ Arizona 1280GTのサンプル



実際に市場で利用された
様々な商品が並んだ HP ブース



婚礼分野、特殊メディアなどを訴求した
コニカミノルタ



リコーのメディアミュージアムでは不織布など
他社にはない特殊メディアが展示された



理想科学の RISOGRAPH
サンプルは風合いが非常に面白い

蛍光トナーなども実用レベルに到達した。長尺については、片面印刷では1000mmを超える用紙を、750mm程度であれば自動両面印刷が可能となり、幅広い商材に利用可能となっている。

新機種をピックアップしてみると、FFGSは国内での実機初出展となるIridesse Production Pressを展示した。A4毎分120ページの高速出力に加え、プロセス4色+特色2色の6色印刷をサポートする。特色2色には金、銀、ホワイト、クリアが選択可能で、プロセス4色の前後に1色ずつ配置することができる。トレーニングを受けることでユーザーによる色交換も可能となる。リコージャパンもミドルレンジでの新機種であるRICOH Pro C7210を出展。品質安定のための各種自動補正機能を搭載し、毎分95枚の印刷速度とホワイト、クリア、蛍光（イエロー、ピンク）が利用可能な5色機となっている。また、コニカミノルタジャパンは新機種としてフルカラーのAccurioPress C6100、モノクロ機としてAccurioPress 6135を出展。C6100は、毎分

100ページの高速印刷に加え、1300mmまでの長尺紙への印刷機構を備えている。

大判インクジェットを含む広範囲な用途を目指す分野での新機種では、FFGSがAcuity UV1600Rを出展、キヤノンマーケティングジャパンからはOcé Arizona 1280GT、写真市場向けDreamLabo5000のサンプルが出展され、EPSON販売はSureColor SC-P10050を、ミマキエンジニアリングはUCVJ300-160を出展した。

一方で、各社とも利用法の訴求も積極的に行った。HPブースは液体トナー方式のIndigo Pressシリーズ、インクジェット方式のPageWide Webシリーズの技術解説とともに、分野別の数多くの実サンプルが展示された。すでに身の回りの製商品に多くのデジタル印刷商材があることを実感することができる。

キヤノンマーケティングジャパンは、クライアントごとに利用サンプルを展示、コニカミノルタジャパンは、婚礼分野や特殊メディアの利用などを中心に訴求を行った。リコージャパンでは、メディアミュージアム



アグファの現像レスプレート Azura は目視で検版が可能な点を訴求



FFGSの無処理プレート Superia 解説パネル



コダックの Sonora プロセスプレートは視認性・耐刷を向上



FFGSの XMF と PHOENIX により面付からプリプレス処理が効率化



通販向けの DM 自動作成でも利用されるグープの PC OneFlow のシステムフロー



キヤノンは PPFM を利用したプロセス管理システムをデモンストレーション

と銘打って、様々な印刷媒体への利用可能性を展示した。特に不織布への印刷を行った後に巾着袋としてサンプルを作成するなど、最終製品のイメージ化が目を引き展示となっていた。また、理想科学工業のRISOGRAPHのサンプルは様々な媒体に特色を利用して印刷された風合いの高い製品が、ローランドディー・ジー・ではUVインクジェットを利用した特殊印刷サンプルが展示された。

オフセット印刷関連

オフセット印刷の関連では、プレート（刷版）の進化が著しい。現像工程を削減した現像レスプレートに加え、全く未処理のまま印刷機に取り付けが可能なプロセスレスプレートがこれを追っている。いずれも従来のプロセスを削減することで処理を効率化し、また利用する材料を削減することで省資源化などを前面に訴求する。

アグファの現像レスプレート Azura は、焼き込み後、ガム洗浄のみで印刷用のプレートを生成するアグファ独自の技術である。視認性の高さによる目視検版、砂目の細かさによって水を絞ることで即時乾燥が可能

な特徴などが紹介された。一方、全く処理を行わず印刷が可能となるプロセスレスプレートでは、FFGSのSuperia、コダックジャパンのSonoraが出展された。FFGSブースでは、自動現像機が不要となることによりスペースが拡大する点が、コダックブースでは視認性と耐刷性の向上を図った改良版のプレートも展示された。

また、ワークフローの分野では、アグファがプリプレスワークフロー Apogee のクラウド版を出展、FFGSのXMFは、自動面付機能を提供するPHOENIXとの組み合わせ利用などがデモンストレーションされた。

工程管理・ワークフローと検査装置

数多くの工程管理システムが出展されたが、こうしたシステムには、大きく2つのパートがある。一つはMIS（経営情報システム）に加え、JDF（Job Definition Format）やJMF（Job Messaging Format）の利用により、製造設備の稼働状況を見える化しながら、自動化プロセスを実現するための役割も担うもの、そして二つ目は、印刷会社の業務管理を



■筆者プロフィール 宮本泰夫（みやもとやすお）(株)バリューマシーンインターナショナル取締役副社長。1993年より東洋インキにてデジタル印刷機の技術、アプリケーション開発に携わる。2003年にバリューマシーンを設立し現職。独立系コンサルタントとして、デジタル印刷を中心とした、基礎技術から、デジタルワークフローやWeb-to-Printなどビジネス技術面でのコンサルティング、企画・セールス・マーケティング面でのビジネス開発コンサルティングを多数手掛ける。クロスメディアソリューション研究会運営理事、全日本印刷工業組合連合会 印刷営業講座専任講師、日本印刷技術協会（JAGAT）客員研究員、日本グラフィックサービス懇話会顧問、フォーム印刷研究会講師、情報工学修士。

【編集部注】 今回のpage展では有料のガイドツアーが企画され、宮本氏はそのコンダクターを務められました。本誌編集部はそのツアーに参加しましたが、その解説がとてもしっかりやすかったため、本稿の依頼に至ったものです。



ダックエンジニアリングのバリエーション印刷検査装置



ピンクを加えた SCREEN グラフィックソリューションズの Proof Jet F780 Mark II



小型加工機の定番ともいえるデュプロカッタークリーサー DC-646



参考出展されたデュプロの卓上封筒製袋機は1枚ずつ抜き・製袋を行う



トーカイコーポレーションの糸綴じシステムは環境面、安全面に有効



全自動の製本ラインをデモンストレーションしたホリゾンの Smart Binding System

担い、主に設備や人を含めたリソース、仕入の状況などの見える化を行うものである。近年のICT/IoTの流れや、ドイツで提唱されたインダストリー4.0など、近い将来に向けての、経営情報の集約化、製造工程の自動化や省人化といった取り組みに大きく関連するシステムであるといえる。

デジタル印刷プロダクション向けのデータ生成、ワークフローシステムの出展も増加している。グープのPC OneFlowは、データドリブン型のマーケティングオートメーションシステムとデジタル印刷用のデータ生成を行うシステムであり、直近では、通販のディノス・セシール社に対し、通販顧客に対して短納期にダイレクトメール発送する仕組みを提供している。キヤノンマーケティングジャパンのPPFM（Production Print Flow Manager）はデジタル印刷プロダクションの効率運用を目指したシステムであり、バーコードを用いた管理により、印刷から加工だけでなく、梱包、発送までの各プロセスの効率化、ミスの低減などを目的とする。

また、展示会場では、オフセット印刷、デジタル印刷向けなど、様々なタイプの検査装置の出展が目立った。すでに記載した工程管理システムなどが自動化や省力化、省人化を目指している状況の中で、特にFA（Factory Automation）の分野でキーになるのが検査工程であり、ミス、ロスの低減から自動化に進む一つのキーテクノロジーとなっている。また、検査とも関連がある校正システムもインクジェットを利用した

もの、オンライン校正などハード、ソフトの両面の多くの出展が見られた。

広がる小型の後加工システム

プリプレスや印刷のデジタル化が進み、小ロットに対応が可能となる中、後加工の小ロット対応は遅れていると言われてきたが、ここ数年、カット、折り、綴じ、抜き、ラミネート、厚盛、箔押しなど多くの後処理で小型化が進み、さらには自動化といった新しい流れが生まれている。本展示会では参考出展ではあるものの、卓上型の封筒製袋機や小型の製函機が出展され、小型加工のバリエーションとしての裾野が広がっていることがうかがえる。

また、加飾加工による印刷物への付加価値付与の技術として、厚盛加工や箔押し加工がある。従来はスクリーン印刷技術などを利用することから小ロット化が難しい分野であったが、インクジェット技術を応用することで小ロットでの高付加価値加工を可能とする製品が増加している。

一方、製本分野では、書籍出版市場を中心として、自動化や効率化を追求したシステムが登場している。輪転方式のインクジェット印刷機と接続することで、同一体裁のブック製本だけでなく、1本のロール内に複数のブック（ページ数違いやサイズ違い）などが混在しても、ロール上に印刷されたデータマトリックス（2次元コード）を後加工システムが読み取ることで

自動でセット替えを行い、極小ロットでの書籍製本を可能としている。

まとめ

今年のテーマである「アライアンス NEXT」はどういった意味で捉えれば良いであろうか。一般にアライアンスとは、同盟や協業などと解釈されており、多くは同業あるいはサプライチェーン上で近接するビジネスと組むことで、これまでにない商品開発、営業活動、効率化などを生み出す戦略のことである。印刷業界においても、一社で全てのプロセスを実施することは容易ではなく、他社との協業によりビジネスの効率化を図るという流れは一般的になりつつある。

それでは、アライアンス NEXT の "NEXT" の部分は何であろうか。これまでのアライアンスでは、互いに横並びの関係であったり、同じ市場で同様な課題を持っていることを補完しあうという目的が一致することで、互いに協業することになる。多くは、発注者―受注業者などの上下関係ではなく、横並びであることが特徴である。一方、「次の」アライアンスの形とは、上下関係にあり、互いに利益相反する立場が同盟を組むという形ではないだろうか。例えば印刷物の発注者―受注業者の関係を見ても、発注企業は、より良いものをより安く調達したいと考え、印刷会社はそれに応えるために努力するというのが一般的である。発

注企業から見た印刷会社は製造業者であり、ここにアライアンスという形はないように見える。しかしながら、印刷物を作成する目的に視点を置いてみるとその状況は変わる。発注企業が自社の売上に寄与する印刷物を作成したいと考え、印刷会社は顧客の売上に効果がある印刷物を提供したいということであれば、両者は同じ目的に向かっていることが分かる。つまり、印刷会社は発注企業のパートナーとして、あるいは同盟企業として、顧客課題の解決や売上向上などの目的と一緒に考える立場になることができる。これが「次の」アライアンスの形ではなかろうか。

印刷会社の役割とは何なのか。印刷物については、その目的、すなわち誰が、どのように利用し、どういった成果を求められているかという視点が重要である。こうした視点からは、印刷機や加工機といった生産設備は単なる一つの道具でしかないことが分かる。当然ながら、デジタル印刷機を導入すれば仕事は来るわけではない。顧客と印刷会社ばかりではなく、印刷の工程の中では数多くの上下関係が存在する。営業と製造現場や、印刷会社と外注加工会社などであるが、これらは、各プロセスが目指すべき本来の目的や役割を共有することで、利益相反の関係ではなくアライアンスという関係に移行することが可能である。改めて、印刷会社、印刷物の役割を見直すための大きなキーワードになることを期待したい。

月刊
グラフィックサービス
No.796
2018
03

TOPICS

ジャグラ会員企業も自社 PR

page2018 ではジャグラ会員企業もブース出展など、自社 PR に努めました。

×

東京グラフィックス会員の(株)オレンジ社（三多摩）は外国語翻訳を得意とする会社で、「地方行政向け外国語・媒体制作サービス」や「インバウンド向け翻訳・媒体制作サービス」を手掛けている。世界 36 言語について、翻訳から DTP・Web サイト構築まで事業展開しており、紙媒体はもちろんのこと、Web やスマホ、デジタルサイネージまで幅広く対応している。

また、善文堂(株)（文京）は手帳製作に特化した会社で、創業から 100 年を数える老舗。工場の設備も手帳製作の



page2018 会場にて オレンジ社（左）と善文堂（右）

ために工程に沿って工夫されている。手帳は独自のノウハウが必要で、通常の印刷会社の設備では対応が困難であるが、同社ではさらにひと手間かけ、付加価値のある商品を提案している。手帳とひとくちと言っても贈答用から個人のビジネス用、高級品まで幅広いが、「開きがイイ」のが同社手帳の特長とのこと。

（記事提供：東グラ事務局・吉野）

PODを使った商品開発

厚紙へのオンデマンド印刷の事例

(有)高田紙器製作所(東京/会員外)
—ジャグラ全国協議会の事例発表より

昨年のジャグラ全国協議会で行われた会員企業の事例発表が「大いに参考になった」と好評でしたので、その要約を誌上掲載いたします。第二回目は、東京の高田紙器製作所さんによる「製袋した厚紙パッケージへのオンデマンド印刷」の事例発表です。同社はジャグラ会員ではありませんが、数年前の文化典東京大会の折に、ポップアップ名刺の作成でご協力をいただいた会社で、そのご縁もあって今回、事例発表いただいた次第です。

×

最近注目が集まるポップアップ製品

皆さん、こんにちは。高田紙器製作所の高田と申します。私どもはパッケージを作る会社として昭和4年にスタートしていますが、最近のご多分に漏れず、この分野も右肩下がりになっていく中で、どのようなことをやっていけばいいのかということ、私が代表取締役になった約15年前から模索してきました。その中でやっと最近芽が出てきたのが「飛び出す絵本」などに代表されるポップアップ製品です。私と名刺交換した方はご存知だと思いますが、プレカット——予めポップアップに型抜きしたものに、後からゼロックスさんのPODでオンデマンド印刷しています。オンデマンド印刷によって多品種小ロットに対応しているわけですが、ポップアップ製品に関しては、設計が難しい部分がありますので、その段階から私どもではサポートさせていただいておりますので、お気軽にご相談ください。



全国協議会で自社の事例を紹介する高田照和社長

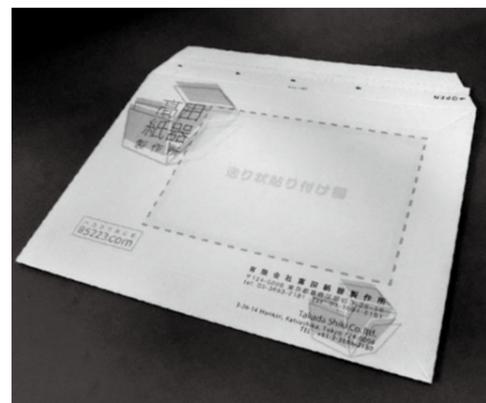
厚紙封筒へのオンデマンド印刷

さて、冒頭申しましたように私どもは元々パッケージの会社ですので、PODに通す用紙もいわゆる「厚物」といわれるものでして、薄くても265kg以上、厚いものではコースター原紙も通すことがあります。いろいろな試行錯誤の中、ノウハウも蓄積されてきて、その結果、今回ご紹介する新製品を開発するに至りました。

商品名は「アドバック」と言いますが、郵便局のレターバックのような厚紙のマチ無し封筒です。通常、ヤマト運輸さんの封筒はコートボールの270gを使っていますが、それにちょっと厚い本を入れてメール便で送ると破けてしまう場合もあるので、このアドバックは350g、コートボールの7号という紙を使っています。製袋した状態で一番厚い部分は1.2mmとなります。封緘シールまで加工した白地の封筒を作っておいて、これをPOD機に通します。

このマチ無し封筒が上手くいったので、今、実験的に試行しているのがボックスタイプの封筒「アドボックス」で、これは組み立てると340×250×20mmの寸法です。ポストに直接入れることができるサイズで需要が伸びているものですが、これにもオンデマンド印刷できることが分かりまして、現在は連続通紙できるように調整している最中です。

そのほか、OPPの透明封筒へのオンデマンド印刷も試しており、これも連続通紙の調整ができれば、既製品を使うことができると思います。最近ではホワイトトナーで下地も印刷できるPOD機も発表されていますので、このようなフィルム封筒の分野でも多品種小ロット対応できるようになっていこうと考えています。(文責：編集部)



▲詳細は弊社サイト www.85223.com をご覧ください

上段左&中) ポップアップ名刺
下段左) 「アドバック」製袋後のマチ無し厚紙封筒へのオンデマンド印刷例
下段中) 「アドボックス」同じく箱型タイプへのオンデマンド印刷例

TOPICS

SPACE-21石川主催 2.2 ドローン活用セミナーに35名が参加

昨年の全国協議会においては、秋田県支部のくまがい印刷・熊谷健司専務による「ドローン活用」の事例発表が参加者の皆様から好評でしたが、これを契機として去る2月2日、SPACE-21石川(黒沢武志代表/株谷印刷)主催の「ドローン業界の現状と活用に向けて」と題したセミナーが開催されました。

×

去る2月2日、金沢勤労者プラザにて「ドローン業界の現状と活用に向けて～異業種分野で地域活性化へ挑戦～」というテーマで、熊谷健司氏に講演していただきました。参加募集は他印刷関係団体4団体にも呼びかけた結果、35名に参加いただき、ジャグラの会員拡大PRとしても活用できたと思います。

セミナーは、「ドローン業界の動向」「各分野での活用事例」「実績紹介」「法規・規制について」といった内容で、参加者の多くはドローンが飛んでいるのを見た事がない方々ばかりでしたので、小型のドローンを室内で実際に飛ばすデモンストラレーションも行っていました。時間の制約もあって参加者全員に体験してもらう事はできませんでしたが、操縦した方々はとても感動していました。これから数年、ドローン市場は右肩上がりの予測ということですが、私達の印刷業界でドローン事業を展開していくには、もっと工夫した取り組みが必要不可欠と感じた次第です。なお、セミナー終了後は、懇親会を開催し参加者との親睦を深めました。(報告：黒沢武志)



左から、講師の熊谷氏、熱心に聞き入る聴講者の皆さん、小型ドローンで操縦体験、懇親会にて(後列右から2人目が黒沢代表)



■ 今月のおすすめ番組

▶ 最新情報はWebでチェック! <https://www.jagrabb.net>



文字組版入門(全4巻)

印刷会社の新入社員必見! 日本エディタースクールの「文字組版入門」を教材に、日本随一のフォントメーカーである株式会社モリサワの山下徹氏が、正しい組版ルールを基礎から解説します。(時間:各巻44~64分 パスワード不要)



映像で学ぶ印刷のすべて 【基礎編】【各論】(全38巻)

新入社員から中堅社員までを対象に、映像で印刷業界のすべてがわかる「印刷大全」。1番組あたり15分から30分程度の内容にまとめているので、必要な部分だけを抜き出して見ることができます。(時間:各巻15~30分 パスワード要)



インデザイン中級講座 めざせInDesignマスター(全6巻)

業界の定番レイアウトツールであるインデザインを使いこなし、作業効率化、クロスメディア展開を目指します。Officeデータの活用方法、自動化など、ワンランク上のプロ向けノウハウが満載です。(時間:各巻13~36分/パスワード要)



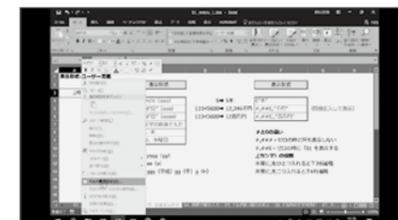
【シリーズ】インサツノオト。 No.01 ハイデルベルグ プラテン印刷機

新シリーズ「インサツノオト。」印刷会社のさまざまな「音」をお届けするこの番組。記念すべき第1回は、ハイデルベルグ社のプラテン活版印刷機の音をお届けいたします。協力:江戸堀印刷所様(大阪府大阪市)(時間:1分42秒/無料配信)



【シリーズ】知らないと損をするWordの 仕事術 No.01~06

オフィスワークに欠かせない文書作成ソフトWordについて、仕事の効率アップにつながるワンランク上のテクニックを紹介する新シリーズが登場! 最新巻のNo.6ではリボンタブの活用について解説します。(時間:各巻2~5分/会員限定番組)



【シリーズ】知らないと損をするExcelの 仕事術 No.01~10

DTPソフトは使いこなしているけれど、Excelは基本機能しか知らない...そんなDTPオペレーター必見の新番組が登場! 仕事で即使えるExcelテクニックを影山史枝講師が伝授します。(時間:各巻2~10分/会員限定番組)

月刊
グラフィックサービス
No.796
2018
03

動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」「インサツノオト。」で配信する投稿映像を募集しています。自社で編み出した仕事の裏ワザ、自慢の印刷機を動画で紹介してみませんか? 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。

ワザコレ!動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ(撮影編集済の場合)をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。
応募先メールアドレス:jagrabb@jagra.or.jp

スマホで
撮影した動画も
受け取ります!



スマホで簡単登録&視聴! ジャグラBB 新規ID登録はこちらから
https://www.jagrabb.net/app_mail.php



JIS改正に伴う プライバシーマーク (PMS) 変更の留意点②

新JIS 本文の構成

プライバシーマーク付与に係る JIS Q 15001:2017 が、昨年 12 月 20 日に改正された。新 JIS の要求事項は、本文とその管理策を記載した附属書 A が規程部分となる。そして、附属書 A の理解を助ける内容として、管理策に関する補足が附属書 B「参考」、安全管理措置に関する管理目的及び管理策が附属書 C「参考」となり、附属書 D は新 JIS と旧 JIS (2006 年版) の対照表という構成になっている。また情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の JIS Q 27001:2014 が参照となる規格である。ここでは規格「本文」の構成について記す。

構成は、0. 序文、1. 適用範囲、2. 引用規格、3. 用語及び定義、4. 組織の状況、5. リーダーシップ、6. 計画、7. 支援、8. 運用、9. パフォーマンス評価、10. 改善である。章立てと項番まで、ISMS の JIS Q 27001:2014 と同様である (情報セキュリティと個人情報保護の用語が異なるのみ)。これらの項目がプライバシーマーク審査基準となる附属書 A に各々紐付けられている。

JIS Q 15001:2017 規格

本文と附属書 A との関係では、規程となる本文の各項目と附属書 A の要求事項を見てみる。

- 0. 序文** : 序文は、概要と他のマネジメントシステム規格との近接性が記されている。
- 1. 適用範囲** : 組織 (事業者) が自らの事業の用に供している個人情報に関するマネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、かつ改善するための要求事項について規定する。
- 2. 引用規格** : 引用規格はない。
- 3. 用語と定義** : 用語と定義については 3.1 から 3.46 までであり 3.38 までは JIS Q 27001 と近似し、3.39 本人から 3.46 リスク所有者までの 8 項目が JIS Q 15001 固有のものである。
ここで記載されている用語と定義は、他のマネジメントシステムの附属書 S L との近接性が保たれている。蛇足ながら用語に対して違和感があるとすれば、ISMS が国際規格である ISO 27000 との整合性が図られ、日本語に翻訳されているため、私たちには馴染みにくい表現になっているのかもしれないが、このまま受け止めるしかないだろう。
- 4. 組織の状況** : 4.1 組織及びその状況の理解、4.2 利害関係者のニーズ及び期待の理解、4.3 個人情報保護マネジメントシステムの適用範囲の決定、4.4 個人情報保護マネジメント

システム。

ここで、旧 JIS との対照では一般要求事項、法令、国が定める指針その他の規範の遵守、個人情報の特定が重なる。附属書 A では A 3.1.1 一般と A 3.3.1 個人情報の特定、A 3.3.2 法令、国が定める指針その他の規範が対応する。なお、利害関係者とは、「ある決定事項・活動に影響を与え得るか、影響を受け得る個人又は組織」と定義されている。

- 5. リーダーシップ** : 5.1 リーダーシップ及びコミットメント、5.2 方針、5.2.1 内部向け個人情報保護方針、5.2.2 外部向け個人情報保護方針、5.3 組織の役割、責任及び権限。
リーダーシップ及びコミットメント、組織の役割、責任及び権限については、A 3.3.4 資源、役割、責任及び権限が対応し、個人情報保護責任者と個人情報保護監査責任者に責任と権限を割り当てるとしている。方針は、A 3.2 個人情報保護方針で新 JIS では内部向けと外部向けに区分されている。(実質は内外への区分はなく同一のもので良い)
- 6. 計画** : 6.1 リスク及び機会に対処する活動、6.1.1 一般、6.1.2 個人情報保護リスクアセスメント、6.1.3 個人情報保護リスク対応、6.2 個人情報保護目的及びそれを達成するための計画策定。
リスク及び機会に対処する活動は、A 3.3.5 内部規程で旧 JIS の a) から o) 項までと変わりはない。個人情報保護リスクアセスメント、リスク対応は、A 3.3.3 リスクアセスメント及びリスク対策として、特定した個人情報について利用目的の達成に必要な範囲を超えた利用を行わないため、必要な対策を講じる。そしてリスクを特定し、分析し、必要な対策を講じる手順を確立維持し、未対応部分は残留リスクとして管理する。計画策定は、A 3.3.6 計画策定で教育と内部監査の計画立案を行う (年 1 回)。
- 7. 支援** : 7.1 資源、7.2 力量、7.3 認識、7.4 コミュニケーション、7.5 文書化した情報、7.5.1 一般、7.5.2 作成及び更新、7.5.3 文書化した情報の管理。
資源と力量は、A 3.3.4 資源、役割、責任及び権限で前述 (5.1) の通り。認識は、A 3.4.5 認識で教育において、PMS の重要性及び利点、役割及び責任、PMS に違反した際に予想される結果、という旧規格に個人情報保護方針の教育が追加された。コミュニケーションは、A 3.3.7 緊急事態への準備が対応する。文書化した情報は、PMS 文書とその範囲、記録の管理である。
- 8. 運用** : 8.1 運用の計画及び管理、8.2 個人情報保護リスク

アセスメント、8.3 個人情報保護リスク対応 (注: 8.2 と 8.3 項と 6.1.2 と 6.1.3 項の名称は同じ表記である)。

運用は、A 3.4 実施及び運用で運用の手順、利用目的の特定。個人情報保護リスクアセスメントとリスク対応は、A 3.4.2.2 適正な取得、以下、要配慮個人情報、個人情報を取得した場合の措置、本人から直接書面によって取得する場合の措置、利用に関する措置、個人に連絡又は接触する場合の措置、個人データの提供に関する措置、外国にある第三者への提供の制限、第三者提供に係る記録の作成、第三者提供を受ける際の確認、匿名加工情報、A 3.4.3 適正管理では、正確性の確保、安全管理措置、従業者の監督、委託先の監督まで。A 3.4.4 個人情報に関する本人の権利では、個人情報に関する権利、開示等の請求等に応じる手続き、保有個人データに関する事項の周知、保有個人データの利用目的、保有個人データの開示、保有個人データの訂正、追加又は削除、保有個人データの利用又は提供の拒否権。A 3.6 苦情及び相談への対応までとなっている。

- 9. パフォーマンス評価** : 9.1 監視、測定、分析及び評価、9.2 内部監査、9.3 マネジメントレビュー。
A 3.7 パフォーマンス評価は、これまでの点検である。監視、測定、分析及び評価は、A 3.7.2 内部監査。マネジメントレビューは、A 3.7.3 代表者の見直しである。
- 10. 改善** : 10.1 不適合及び是正処置、10.2 継続的改善。
A 3.8 是正処置については、旧規格の予防処置が削除された。その意味は、予防処置は PMS 全体を回すことが予防処置と解釈するからであろう。そして旧規格では是正処置の後に代表者の見直しが位置していた。それが新規格では是正と継続的改善が入れ替わり、最終の要求事項とされた。

※なお、特定個人情報 (マイナンバー) についてはとりわけ記述はない。すでに「番号法」で規定されているため。

附属書 A に関する変更点

全体を通して、旧規格との比較をまとめる。他のマネジメントシステム (附属書 S L) との整合を図ったものを列挙すると附属書 A への反映は――

A 3.1 一般、A 3.3.3 リスクアセスメント及びリスク対策、A 3.4.2.4 及び A 3.4.2.5 個人情報を取得した場合の措置、A 3.4.2.7 本人に連絡又は接触する場合の措置、A 3.4.5 認識、A 3.5 文書化した情報、A 3.7 パフォーマンス評価、A 3.7.2 内部監査、A 3.7.3 マネジメントレビュー、A 3.8 是正処置の各項目である。

続いて、個人情報保護法改正に伴う変更では、附属書 A への反映は――
A 3.4.2.3 要配慮個人情報、A 3.4.28 個人データの提供に関

する措置、A 3.4.2.8.1 外国にある第三者への提供の制限、A 3.4.2.8.2 第三者提供に係る記録の作成、A 3.4.2.8.3 第三者提供を受ける際の確認、A 3.4.2.9 匿名加工情報、A 3.4.4.2 開示等の請求等に応じる手続、A 3.4.4.3 保有個人データに関する事項の周知など、A 3.4.4.4 保有個人データの利用目的の通知に関する事項、A 3.4.4.5 保有個人データの開示、A 3.4.4.6 保有個人データの訂正、追加又は削除、A 3.4.4.6 保有個人データの利用又は提供の拒否権、の各項目である。

旧 JIS との用語対比

附属書 D による新・旧 JIS の用語対比は以下の通りである。(太字が新規格の用語)

組織 : 事業者、**トップマネジメント** : 代表者・事業者の代表者、**個人情報リスク** : リスク、**個人情報リスクアセスメント** : リスクの分析、**個人情報リスク対応** : リスクの対策、**残留リスク** : 残存リスク・認識、**教育など** : 教育、**文書化した情報** : 個人情報保護マネジメントシステム文書、**文書化した情報 (記録を除く)** : 文書、**文書化した情報のうち記録** : 記録、**運用** : 実施及び運用、**本人に連絡又は接触する** : 本人にアクセスする、**パフォーマンス評価** : 点検・代表者による見直し、**内部監査** : 監査、**マネジメントレビュー** : 代表者による見直し、**是正処置** : 是正処置及び予防処置

×

このように新 JIS は構成が大きく変わり、ボリュームも 2006 年版の 2 倍となった。しかし、2006 年版における PMS と 2017 年版での個々の事業者の PMS で変更を強いられる点はそれほど多くはないようである。新 JIS への対応を今後行う際に、規格の本文を咀嚼し、個人情報保護方針を見直すとともに、これまでの PMS で基本となる規程 (基本マニュアル) は項番の変更と移動、下位規程類の手直しと用語の整合性を図られたい。

改正法による変更点としては、①個人情報の台帳の再整備、②共同利用、③委託、④従業者への教育の項目追加、⑤運用の確認 (自主点検) 等の整理を行えば、最低限の対応はできよう。附属書 B と C は規定ではないが、PMS 管理策と安全管理策であるので十分参考にされたい。なお、新 JIS の解説、プライバシーマークの審査基準等、事業者への情報提供は、順次 JIPDEC から説明会やガイドブック等によってなされるので、詳細はそれらを参照されたい。

(文: ジャグラ プライバシーマーク審査センター長 齋藤成)

【参考】新 JIS Q 15001:2017 の URL

https://webdesk.jsa.or.jp/books/W11M0090/index/?bunsoyo_id=JIS Q 15001:2017



4.21 (土) ジャグラSPACE-21総会

コニカミノルタジャパン本社
特別セミナーおよび見学ツアーのご案内

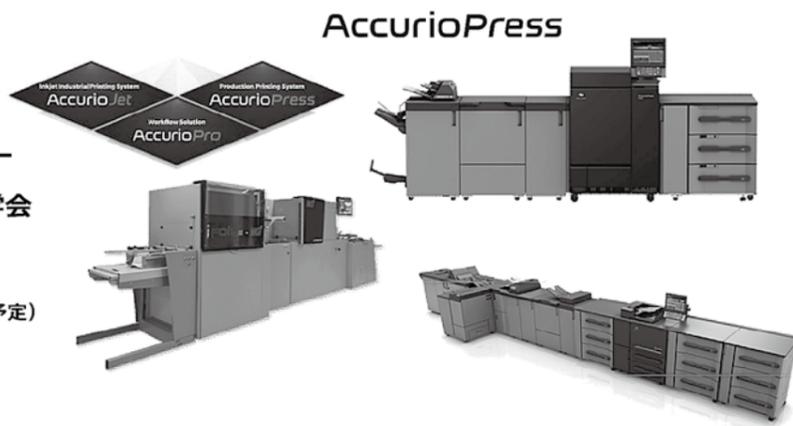
誰でも
参加
できます

ジャグラ会員であれば青年部でなくても参加できます

コニカミノルタでは、浜松町本社に先進の印刷ソリューション体験とお客様と新しいビジネスモデルをともに創出するコミュニケーション空間として、プロダクションプリント向けショールーム『デジタルイメージングスクエア』を開設致しております。コニカミノルタの総合デジタルソリューション&システム“Accurioシリーズ”群をご紹介します。また東京本社ならではの最新鋭機器の展示も致しておりますので、是非この機会に「体感」していただきますよう、ご参加を心よりお待ちしております。

当日プログラム

- 14:00～ 受付開始
- 14:30～15:20 POD特別セミナー
- 15:30～16:20 ショールーム見学会
- 16:30～17:00 SPACE-21総会
- 17:30～19:30 懇親会 (会場近隣を予定)



会場のご案内

コニカミノルタ ジャパン株式会社

<住所>
〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1
浜松町ビルディング (総合受付26階)

DIGITAL
IMAGING
SQUARE

<アクセス>

- JR、東京モノレール「浜松町」駅南口 徒歩7分
(浜松町南口より屋根付き歩道をご利用ください)
- 都営地下鉄大江戸線・浅草線「大門」駅B2出口 徒歩12分
- ゆりかもめ「日の出」駅西口 徒歩10分



ジャグラ SPACE-21総会 特別セミナー及び見学ツアー お申込み書

(ジャグラ会員の方は全てのプログラムにご参加頂けます。)
開催日 2018年4月21日 (土)

お申込み締切：2018年4月6日 (金)
(お一人につき一枚ずつお申し込み下さい)

御社名			
ご住所			
電話番号		FAX番号	
E-mail			
ご氏名	ふりがな：		
ご参加希望 チェック☐を ご記入ください	<input type="checkbox"/> すべて参加 (14:30～19:30) <input type="checkbox"/> 特別セミナー・見学ツアー・総会のみ参加 (14:30～17:00) <input type="checkbox"/> 懇親会のみ参加 (17:30～19:30)		

取得した個人情報は、当イベントの運営のために利用いたします。ご同意の上でお申し込みください。

お問合せ

SPACE-21事務局 今田/吉野
TEL : 03-3667-2271 E-mail : space21@jagra.or.jp

懇親会参加費

5,000円税込 (当日受付にてお支払下さい)

注意事項

- ①キャンセルは5日前 (4/16) までをお願い致します。以降のキャンセルにつきましては、後日ご請求をさせていただきます。
- ②交通・宿泊につきましては、各自でのご手配をお願い致します。

お申込み書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
FAX : 03-3661-9006 (JaGra事務局 SPACE-21担当宛)

月刊
グラフィックサービス
No.796
2018
03

月刊
グラフィックサービス
No.796
2018
03

優良従業員表彰の申請を受付中です

支部長経由での申請となります (申請書はジャグラHPからWord文書がダウンロードできます)

ジャグラは今年もジャグラ文化典において優良従業員の表彰を実施します。優良従業員表彰は従来15年以上勤務した従業員を永年勤続従業員表彰として表彰していた制度に代わる表彰として平成16年より実施しているもので、現在、その申請を受け付けています。

支部長経由で

表彰の申請には支部長の認証が必要ですので、次ページ書式もしくはジャグラHPより申請書 (Word文書) をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、支部長にご提出ください。

×

●手順

- ①推薦したい従業員がいる場合、所定の申請書にて、支部長 (または支部事務所) へて申請してください。
 ※申請書は支部経由で、本部へ提出してください。その際、支部長のご印鑑の押印をお願いします。

●表彰基準

- ①その従業員が優秀で、他の従業員の模範になる場合
- ②その従業員が優秀な事績を残した場合
- ③その他、その従業員を表彰するにふさわしい場合
 ※その従業員が上記のいずれかに当てはまると、代表者が判断した場合に申請できます。
 ※なお、従業員とは「労働組合法第3条」による労働者 (賃金その他これに準ずる収入で生活するもの) であって法人の場合は社員から役員になった者であっても、出資金がその法人の資本総額の十分の一以下であれば、従業員とします。
 ※当該事業所に従事している事業主の配偶者は除外します。

●経費の負担

- ①優良従業員 (被表彰者) に授与する表彰状、記念品はジャグラが用意しますが、経費は申請する会社で負担してください。費用は概ね1万円見当です。後日、請求書を送付しますので、それに従い振り込

てください。

- ②被表彰者が表彰式に出席するための一切の経費は、表彰の趣旨を生かすため、事業主がご負担くださるようお願いいたします。

●支部長の認証および本部への提出

- ①申請書は支部長が受け取り、該当欄に、署名押印し、一括して本部へ提出してください。
- ②本部締め切り……4月19日必着 (20日の理事会に間に合わせるため)

●表彰決定の通知

- ①各支部長より提出のあった申請書は、本部理事会の承認があると、ジャグラより各事業所に書面で通知します。

●表彰式

- ①文化典式典 (6月2日、ホテル日航福岡) で被表彰者へ表彰状および記念品を授与します。
- ②被表彰者の式典後の懇親会への招待はありません。
- ③懇親会出席を特に希望される場合は全額事業主負担となります。申し込みは、通常の文化典申し込み用紙で申し込んでください。

●欠席者の取り扱い

- ①表彰式に出席できない被表彰者へは、後日、賞状および記念品を送付いたします。(会社住所宛)

.....
 お問い合わせはジャグラ事務局まで
tel.03-3667-2271

一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 御中

下記の通り相違ありませんので、これを承認いたします。

年 月 日

支 部	支 部
支部長	印

事 業 者	社 名	法人	創業	
		個人	年月	
	代表者	印	ジャグラ 登録代表者 (注1)	
	所在地	〒	電話	

(注1)「代表者」と「ジャグラ登録代表者」が同一人の場合、「代表者」欄のみご記入下さい。

被 表 彰 者	ふりがな		男 ・ 女	明治 大正 昭和	年	月	日生		
	氏 名				(満 歳)				
	本 籍	(都・道・府・県)			代 表 者 との続柄 (注2)				
	現 住 所								
	勤続年数	勤続年数：延べ 年 月 (入社：昭和 年 月) 内、従業員として 年 月、役員として 年 月							
職 歴	製版	校正	印刷	営業	事務	その他	管理職	計	現職
	年	年	年	年	年	年	年	年	年
推薦理由 (いずれかの番号を○で囲んでください)	1. 優秀で、他の従業員の模範になる 2. 優秀な事績を残した 3. その他、表彰するにふさわしい (具体的には)								

(注2)「代表者との続柄」欄は、親戚・婚姻関係がある場合にだけ甥・姪などと記入し、それ以外は他人と記して下さい。

- ※ この申請書は、1人1枚を使用して下さい。
- ※ この申請書は、記入後、支部長に提出して認証を受けて下さい。

ジャグラ諸事業の進捗状況

1.10 第53年度第四回理事会報告より（全国協議会報告以降分）

先月号の議事録抄録で掲載省略した「第六号議案 平成 29 年度事業報告に関する件」について以下お伝えします。（昨年の全国協議会報告以降、主要なもののみ掲載）

×

〔1〕運営基盤戦略会議

2月9日に第三回を開催する予定である。

〔2〕教育・技術

1. ジャグラ BB

◎コンテンツを増やすため、会員に撮影用のビデオカメラを貸し出すなどして、動画を投稿してもらう。

◎番組制作の基本スタンスとして「印刷会社に勤める従業者向けのコンテンツ」を重視して番組企画を立てていく。現在 304 本の番組を配信している。今後は、会員が動画を投稿するような参加型の番組を企画していく。会員参加型番組として「ワザコレ!」「インサツノオト」を制作している。「ワザコレ!」は現在 3 本配信中である。「インサツノオト」は、大阪のあさひ高速印刷様のご協力のもとパイロット版を制作中。1 月中に配信する予定である。

2. プロフェッショナル DTP & Web 教室

◎講師派遣

・東京都水道局：ビデオ撮影・編集講座

・農林水産省（大塚商会経由）：Premiere Elements 講座

・ジョンソンエンドジョンソン：PDF 講座

3. その他

大橋理事より、「事業継続・事業継承のための POD 印刷セミナー」の企画について、説明を行った。平成 30 年 1 月～2 月にかけて宮城県支部でセミナーを実施する予定で教育・技術委員会として後援することになった。

4. POD ワーキンググループ会議

◎3月2日にリコーとキヤノンのショールーム見学&ミニセミナーを開催する。

◎アンケートの実施

菊四オフセット機をメインとして使用している会員で、機械が壊れた場合、新規にオフセット機を導入するのか、トナー機もしくはインクジェット機に切り替えるかなどの対策が必要になる。ジャグラ会員で菊四オフセット機メインの会社がどのくらいあるのか、支部長に対してアンケートを行う。

◎昨年 4 月からとりあえず 1 年間ということで動き出したが、さらに 1 年間委員会を継続する。6 月の福岡総会で POD ワー

キンググループとして中間報告を行う。

5. ジャグラコンテストの実施

◎アンケートの実施

ジャグラコンテストの方向性を検討するにあたり、ジャグラ会員を対象に昨年 11 月に DTP 制作環境調査のアンケートを実施した。回答は 428 件で、回収率 48.9% と高率だった。アンケート結果は機関誌 2017 年 12 月号に掲載した。

◎次期ジャグラコンテスト内容の検討

前述アンケートで、「スキルアップしたいアプリケーション」で InDesign が 1 位、「ジャグラコンテストの競技テーマにして欲しいアプリケーション」で Illustrator が 1 位となったため、何らかの形で Illustrator を競技テーマに取り入れることが決定した。

◎マイスター活躍の場について

InDesign マイスター活躍の場として、機関誌での座談会実施、テクニカルな記事の執筆など依頼していく。また、マイスターによる全国キャラバンセミナーを企画する。参加費は 3000 円～ 5000 円、まずは近畿で実施する方向で検討することとなった。

6. 作品展

前年度のスケジュールを踏襲して実施する。

〔3〕経営革新

1. 亥年・年賀状デザインコンテスト

おおよそ前年度に準じた形で実施する。募集期間 4 月 2～6 月 15 日、選考会議 7 月初旬、結果発表 7 月 19 日、ダウンロード開始 8 月 17 日。入賞作品は 100 点、賞金総額 80 万円。

2. その他

オンデマンドプリンターの情報収集。キンコーズは 3 年前にコニカミノルタ 100% 出資の会社になった。NHK の番組に取り上げられるなど話題になっている。引き続き情報収集を行う。

〔4〕市場開拓・マーケティング

1. エコマートについて

齋藤委員長がエコマートに合う機会があるので、その結果を待って対応する

2. M&A を含む事業承継について

昨年、事業承継（M&A を含む）の対談・座談を通して情報提供をしてきたが、今後は次のステップの対応に重点を置いた情報提供を考えることにした。

3. クラウドサーバーセミナーについて

クラウドサーバーセミナーは、これまで 4 回開催してきたが、2 月 16 日に東北地協にて開催する予定である。

〔5〕環境

1. 環境優良工場表彰の件

12 月 1 日より第 17 回環境優良工場表彰の募集が始まった。機関誌 12 月号にチラシと応募票を同封した。1 次審査の締め切りは 2 月 3 日で 16 社の応募を目指す。

2. グリーンプリンティング（GP）認定制度の普及

◎GP 認定制度について、日印産連はガイドラインの見直しを実施した。前回の委員会では新ガイドランをもとに「ジャグラ版 GP 取得の手順」を作成した。現在、ジャグラの GP 取得企業数は 12 社（他団体も含め全体では 379 社）

◎日印産連ではグリーンプリンティング普及のため、「印刷と私」というエッセイコンテストを実施した。

3. 機関誌への記事掲載

3 回にわたり、GP 認定制度についての連載を行った。認定制度に限らず企業が果たすべき社会的責任として、作業の効率化や社員の健康管理などについて解説する。

〔6〕個人情報保護

1. プライバシーマークの普及

ジャグラ会員におけるプライバシーマーク付与事業者会員数は、平成 29 年 12 月 13 日現在 200 社である。

2. 個人情報保護の推進

昨年 12 月 20 日に JIS が改正されたことに伴い、機関誌にて、3 回に渡り、情報提供を図った。

〔7〕SPACE-21

1. 幹事会の開催

11 月 11 日に開催。全国協議会岐阜大会の決算報告、次期全国協議会山梨大会の経過報告と協議、来年 4 月に開催する東京総会の経過報告と協議、広報事業についての協議、PrintNext 2018 の経過報告、マーケティング委員会のキャラバン報告、SPACE-21 次期体制について協議した。

来年の全国協議会は山梨県の石和温泉で 9 月 8 日～9 日に開催予定であるが、AUC40 周年記念式典も合わせて開催される。来年はジャグラと同様に改選の年となるが、次期代表幹事の立候補者が福岡県・玄青会の本村豪経氏で確定し、幹事会で承認された。4 月開催の東京総会にて正式に就任する。

2. 打合せ

12 月 3 日、(有)舞鶴孔版（大分県支部）にて SPACE-21 次期体制について打合せを行った。出席者は本村豪経幹事（次期代表幹事候補）、安達睦男幹事、今田事務局員。下記 5 項目について話し合った。① SPACE-21 の存在意義、②事業の方向性、③新執行部体制案、④幹事会のあり方、⑤予算について。

以上

Notice | ご案内 | 本誌・印刷製本委託業者募集のご案内

ジャグラ広報委員会（早坂淳委員長）では、本誌『グラフィックサービス』の印刷製本業務（本年 7 月号より 2 年間）を請け負っていただく会員企業を募集します。入札に際しては価格だけでなく内容を重視します（取材編集・短納期・発送など何でも結構です）。下記仕様をご確認のうえ、見積書/ご提案書を 5 月 14 日（月）までに郵送（必着）またはご持参ください。

…………… 本誌仕様 ……………

①判型：A4 判 ②頁数：32 ページ以上（表紙込）

③色数：表紙 4 色（色校不要）+ 本文 1 色

注）②③は最低限の仕様です。ページ増、本文の一部または全部をカラー刷りとする提案も受け付けます。

④校正：PDF ネット校正で可

⑤入稿：Adobe CC 生データでネット入稿

⑥印刷：印刷業者が構成する一般社団法人が発行する機関誌としてふさわしい品質であること（紙版不可）。

⑦部数：1300 部 ⑧納品：ジャグラ事務局&発送会社

⑨納期：校了後 7 営業日以内に発送すること（厳守）

⑩備考：印刷・製本については、その種類（オフセット/オンデマンド、無線綴じ/中綴じ）を問いません。

●制作環境について

① Adobe InDesign 生データでの入稿となります。毎回、誤植修正の作業が発生しますので、Adobe CC 最新バージョンおよびモリサワ書体の所有は必須です。

②ネット入稿となりますので、自社サーバー必須です。（レンタルサーバー可。宅ふぁいる便等の汎用サービス利用不可）

●見積書&ご提案書（様式不問）について

①「印刷・製本」の見積書としてお願いします。

②「印刷・製本」以外=取材、制作（編集）、発送などのご提案については別見積りとしてください。

③本誌バックナンバー、ジャグラ総会資料（予算書）などもご参考のうえ、ご応募ください。

●問い合わせ・送付先

ジャグラ事務局・守田まで

tel.03-3667-2271 / E-mail edit@jagra.or.jp

一生仕事で困らない企画のメモ技

高橋晋平 著 (ジャグラー BB 番組講師)

多くの人に響く！大ヒットする！ そんな企画を生み出すのに特別な才能はいりません。必要なのはメモの技術です。

×

∞ プチプチなどの大ヒット商品を数々生み出してきた著者が、企画をどんどん生み出せるようになるメモ術を公開した書。「会社から新企画の提出を求められたが、いい案が浮かばない」「新しいビジネスを始めたいと思っているが、何をやっていいかわからない」というような状況はごく普通に起こります。本書では3種類のメモ技術を使って、人の「欲求」にフォーカスし、次々に企画をつくりだす「仕組み」を解説しています。

●目次

- ・メモすべき情報は「欲しいと思うものごと」だけ
- ・インターネットでのネタ探しにもコツがある
- ・アイデアは「考えたいお題」×「ネタ」でつくる

- ・企画にしたいアイデアを選び出す3つのフィルター
- ・ヒット企画になるアイデアの絶対条件
- ・ひとつのアイデアを深掘りするには手書きが一番
- ・三角形メモで企画のバランスを整える
- ・企画の一番の価値＝「大トンガリ」をつくれ！
- ・大トンガリと小トンガリのバランスが絶妙な商品とは？ほかに



●仕様など

- ①体裁：単行本（ソフトカバー）、232ページ
- ②出版社：あさ出版
- ③価格：1512円
- ④その他：ISBN-13: 978-4866670300

地元の食材・特産品店と広場が、北海道のさびゆく町を蘇らす

e-中小企業ネットマガジンVol.796より転載

駅 周辺の市街地が廃れてシャッター通りと化していく。少子高齢化とモータリゼーションのダブルパンチが、地方の町にダメージを与えるようになって久しい。そんな中、「まちの顔であるべき中心市街地が、元気にならなければ未来はない」と、商店主らが立ち上がり、活性化に成功した事例が北海道にある。「ふらのまちづくり（北海道富良野市、西本伸顕社長）」による商業施設「フラノ・マルシェ」を核とする取り組みがそれだ。JR 富良野駅周辺地域に観光客も近場の住民もたくさん呼び込んで、同地に市場（マルシェ）の賑わいをもたらした。

こ のままでは廃れるだけ。気づいた俺たちが動かずに一体誰がやるのか。およそ十数年前、共に地元で商いを営む西本氏と、ふらのまちづくり現専務の湯浅篤氏は、強い危機感を共有する。駅近くの病院の移転に伴い、空き地・未利用地が大量発生したのがきっかけ。行政主導の駅前再開発事業の限界も感じ、民間主導で何とかしなければ、と今日に至る事業主体ふらのまちづくりを、既存会社を衣替える格好で立ち上げる。2003年のことだ。

同 社では観光客らに中心市街地に来てもらうための「目玉」として、地元食材や特産品の販売店を集積し、多目的広場も備えた「フラノ・マルシェ」を2010年に開設。レストランの類いは設けずに、近隣の飲食店との共存共栄を狙った。結果は大正解。中心市街地への来訪者数は飛躍的に増

加し、とくに観光客は1けた増＝10倍規模の伸びとなって、今日まで増勢が続いている。売り上げが3倍以上となった飲食店も現れるなど、意図した「まちなか観光／まちなか回遊」による地域全体の活性化を実現した。

T Vドラマ「北の国から」は富良野を舞台に物語が展開された。ドラマ開始の1981年以降、富良野の知名度は大幅に高まり同地は観光名所となる。ただ、観光客が訪れるのは郊外の施設やロケ地ばかりで、中心市街地は、そのおこぼれにあずかるだけ。そんな「全国どこにでもある疲弊していく町」（湯浅専務）が、フラノ・マルシェ効果により蘇る。湯浅専務は「小さな町は何人かが本気になって動くと、本当に変わるのだと実感した」と述懐する。同社では活性化プロジェクト第2弾として、「歩いて暮らせる住空間」をコンセプトとする「ネーブルタウン」をオープンするなど、まちづくりから『まち育て』へと歩を進めている。

ところで、いずれも本業との兼業で同社の舵取りを担う西本社長・湯浅専務のツートップは、どちらも60歳を過ぎ、そろそろ、事業承継・後継者問題が気になる頃。そこで「私たちの後を託せるポテンシャルを持ったメンバー数人を一本釣りし、彼らに我々の考え方をレクチャーし、共に行動して、背中を見せながら後輩の育成に努めている」（西本社長）。『まち育て』の完成には『人育て』が欠かせないと、じっくり腰を据えている。

シリーズ 需要創出 を考える⑦

印刷需要が低迷し、価格競争が激化する経営環境の中で、ジャグラー会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探る本シリーズ。第7回目は昨年のジャグラー作品展受賞企業の中から、栃木県支部・株みやもとさんの事例をご紹介します。

事例8 作品展 / 開発・開拓部門 厚生労働省職業能力開発局長賞

『ヘアサロン ビューティアトリエグループ イメージリニューアル計画』

～信頼関係を築いたお客様の作品で4回の受賞～



(株)みやもと (栃木)

代表取締役 **宮本 誠**

(ジャグラー栃木県支部長)

提案型企業への礎を築かせていただいたお客様

当社は1966年に栃木県宇都宮市にて新聞広告等の写植下請け業として創業、製版・印刷機と順に設備を増やし、現在はB3サイズのオフ輪機2台をメインに、小回りの利くチラシ印刷の下請け業務を中心に行っております。当初より制作部門を持たない広告代理店様などの需要に応え、デザインから版下作成にも対応していましたが、デジタル化以降はDTPの導入も県内では早かったためにデザイン制作の需要も多くなり、直接受注のお客様も増えてきたことから企画制作部を設置し、人員増と共に内容も充実してまいりました。

昨年のジャグラー作品展で「開発・開拓部門・厚生労働省職業能力開発局長賞」をいただいた受賞作品は、宇都宮で19店舗のヘアサロンや美容に関するお店を展開する、創業55年を迎えた『ビューティアトリエグループ』さんのイメージリニューアル計画作品となります。当社とのお付き合いは18年程となり、以前のジャグラー作品展でもUV印刷にてアルミ蒸着紙をベースに煌びやかなバラを描いたオリジナルシャンプーのポスターで「平成19年度宣伝印刷物部門・経済産業大臣賞」を受賞。その後も、50周年記念誌で「平成26年度宣伝印刷物部門・日本印刷技術協会会長賞」、SNSの記事を利用した情報誌作成で「平成27年度宣伝印刷物部門・作品展審査委員長賞」と、ビューティアトリエさんの作品で4度の受賞をいただいている特別なお客様であります。

今回のリニューアル計画は、ロゴマークの刷新に始まり、セールスコンセプトの提案、イメージキャラクターの提案など、トータルな広告宣伝ディレクションとなりました。

ビューティアトリエさんは毎年新卒採用を20人近く受け入れる県内最大手のヘアサロンで、教育にも相当の力を注いでいます。毎年、経営方針発表会でスタッフに配られる経営方針手帳は、経営理念に始まり教育指導要綱、営業目標に行動指標等が綴られた200ページ超のボリュームで、この制作も請けおっていることから、同社の会社方針や美容業界の知識について、当社のスタッフも良く理解できるまでになりました。お付き合いを始めた当初は、原稿をいただいでそれをデザインするだけでしたが、回を重ねる毎に当社からの提案や改善策も採用されるようになり、今では原稿を一からいただかなくても進行できるため、お客様の負担も軽減できていると思います。

当社としても印刷会社然とした受注産業から提案型企業への自己変革を進めるに当たって、良いことも悪いこともお話しいただける信頼関係あってこそその企画提案ですし、加えてジャグラー作品展への応募についてもご快諾いただき、度重なる受賞がスタッフの自信にも繋がり、需要開拓の礎を築いていただけたお客様という位置づけです。

ロゴマークについて

そうしたお付き合いとは言え、50数年の歴史ある会社のロゴマーク作成は、当社にとっても緊張感のある案件でした。ビューティアトリエさんからは「100年企業を目指す当社にとって相応しいマーク」との要望で、今までの50年とこれからの50年を繋ぐマークでもあります。

制作に当たって一つ問題もありました。ビューティアトリエさんは今までもグループロゴはありましたが、各店そ



それぞれの店名で事業展開しており、各店別個のインパクトの強いロゴがあるため、グループロゴの存在が希薄でしたので、県内最大の美容室グループとしてのメリットを象徴するメインマークにしたいと考えました。依頼時から最終決定まで何十点もの提案をしましたが、私自身も納得いく仕上がりではありませんでしたので、最高のマークを作り出すための経過提示としていました。

ヒアリングを重ねる中で私自身も納得できたマークのコンセプトを要約すると以下になります。「今までのグループロゴにも使われていた美の象徴とも言える深紅のバラを洗練されたイメージに、中央には『ATELIER』の『A』を組み入れ、シャープな直線と優しい曲線を融合し、バラの花びらを表現。それぞれの花びらの色は絶妙に異なり、奥深さと繊細さを醸します。ビューティアトリエグループの共通イメージシンボルとして恒常的に気品あるロゴマークとしました。」

この提案が最終採用となり、現在では各店舗の店頭で共通マークとして掲げられています。また11店舗の美容室と共にメンズ需要の理容室が4店舗あるため、理容室用にはブルーベースに色を変えたマークを提案しました。どうしてもグループ全体では美容室よりの女性らしい色合いのグラフィックが多くなってしまおうのですが、理容部門のスタッフが「自分たち専用のマーク！」と、喜んでもらえたのは私たちも嬉しい限りです。



ジャグラー作品展で受賞4度を数えるアトリエグループ様の作品の数々
左からH28年度受賞作のイメージリニューアル例、H19年度受賞作のポスター(上段中)、H26年度受賞作の50周年記念誌(上段右)、H27年度受賞作の情報誌(下段)

セールスコンセプトについて

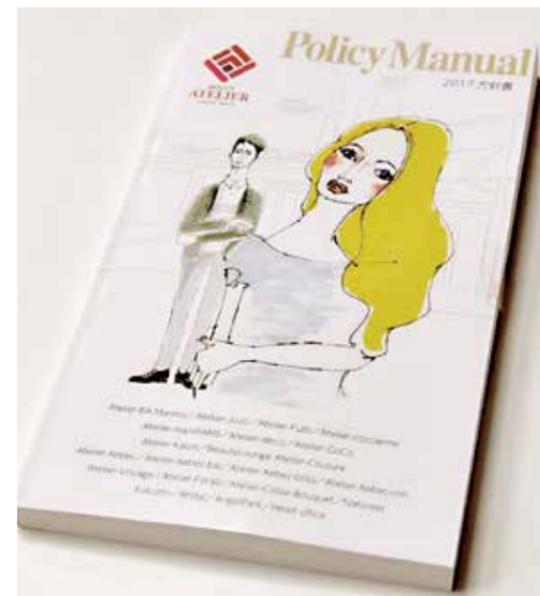
セールスコンセプトとなった「アトリエはもう美容室じゃ無い!美『養』室」は、元々、夏のキャンペーン販促品用のキャッチコピーとして提案したものでした。ヘアサロン業務に留まらず「トータルビューティ」を掲げ、マッサージにエステに健康食カフェ、美容知識を深めるスクール運営など多様な展開を行うビューティアトリエさんは「もはや美容室ではない……」と感じていた私が提案したキャッチコピーです。

「もう美容室じゃ無い!」というインパクトの強いコピーに負けないビジュアルとして、キレイなだけのモデル写真やイラストでは無く、少レクセのあるアーティスト的なイラストが必要でした。すぐ思いついたのは、私たちジャグラー栃木県支部で開催している街中イベント「やさしい日曜日」に参加しているグラフィックアーティストの雑貨屋店主でした。もちろん当社のデザイナーもイラストは描けますが、商業的過ぎず型にはまらないイラストが欲しかったのです。提案した広告は今までとは違ったコンセプトで、社長様にも大変満足いただきましたが、年配のお客様に受け入れられるかを不安に思っていました。結果的には年配のお客様にも評判は良く、特に若いスタッフから「カッコいいチラシを有難うございます!」との言葉をたくさんいただきました。



お客様の評判も大切ですが、社内のモチベーションや士気を上げることも広告にはとても大切な事と思います。結果的には、この女性キャラクターはその後のキャンペーンにも採用され、メンバーションも作成し、経営方針書の表紙も飾ることとなりました。また、キャッチコピーも「アトリエはもう理・美容室じゃ無い!」「休養」「栄養」「教養」美を養うサロン、理・美『養』室。それがBeauty Atelierです』として方針書の1ページ目に掲げることとなり、「美『養』室」のコピーは、商標登録も行ったそうです。一つのキャンペーンの広告コンセプトが、会社の方針に採用されるまでになったことは、携わった私たちにとってはとても光栄なことです。

企画から仕事を進めることは、お客様の業務を把握し、お客様の想いも理解しないとなかなか納得いただけるのはできないとは思いますが、全国のジャグラーの皆さんは地



セルスコンセプトアトリエはもう美容室じゃ無い!美『養』室は、夏キャンペーンのキャッチコピーだった(左)メインビジュアルの女性イラストは経営方針書の表紙も飾った(右)

域に密着し、長年のお付き合いのお客様も多くいらっしゃると思います。もちろんこのような仕事も既に行っている方も多いと思いますが、真面目で一生涯懸命なジャグラーの皆さんなら、きっとお客様に満足していただける提案ができると思います。

×

当社の経営理念は「あなたの伝えたいを、お手伝い。私たちは目指します。日本一のお客様へ寄り添える会社へ」です。まだまだ道のりは遠いのですが、ビューティアトリエさんのような深いお付き合いができるお客様を一つ一つ増やし、お客様に必要とされる会社で在りたいと思います。

最後に、ジャグラー作品展の受賞においては、いつも励ましのお言葉をいただいていると思っております。スタッフ共々心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

あなたの会社を守る ジャグラー・グループ保険

特長1 掛金が割安です(例:30歳男性、1口290円/月)

特長2 死亡時保障額は最高1600万円

特長3 事故による入院もワイドに保障

特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます

特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラー事務局・酒井まで

tel.03-3667-2271

ジャグラほか印刷 3 団体青年部合同

2.10 PrintNext2018 盛況 大阪の地に600人が集う！

於 大阪府・大阪市中央公会堂

去る2月10日、大阪府の大阪市中央公会堂にて PrintNext2018 が開催され、全国から600人を超える次代を担う青年印刷人が集結しました。このイベントは、ジャグラ青年部 SPACE-21 を含む印刷団体青年組織 3 団体主催によるもので、2004年のPRINT4 から数えると8回目の開催となります。

×

強い会社とは何かを探る！

今回の PrintNext2018 は「強い会社になる為に、そして企業を永く継続する為に、～強い会社とはなにかを見出し、次世代に自社が魅力的な会社だと思わせてやる！～」をテーマとして開催されました。当日は、協賛企業によるパートナーセッションではじまり、お昼休憩を挟んでの式典では、山本素之実行委員長の開会挨拶、来賓紹介に続いて、「親子で語ろう未来の印刷」表彰が行われ、杉山京志郎さんの作品「生物体内透視スキャンと同材質3D プリント装置」が最優秀賞に選ばれました。

続いて「プリネクカップ～大阪の陣」が行われ、全国8ブロック（北海道、東北、関東甲信越、東京、中部、中国、四国、九州）による取り組みが発表されました。各ブロックの発表テーマは以下の通りです。

- ①中部ブロック「もっとあんこを食卓に」
- ②四国ブロック「地域活性化を目指した高知市中心街便利マップ作成プロジェクト」
- ③中国ブロック「意外に知らない!? 歯科医療現場を支える職人」
- ④北海道ブロック「LGBT 企業の人材不足新たな視点を」
- ⑤九州ブロック「いいね！UP プロジェクト」
- ⑥東京ブロック「ビジネスを楽しもう♪製造業がサービス業やったらこんななった！」
- ⑦東北ブロック「私たちが創る！これからの印刷、これからの東北」
- ⑧関東甲信越ブロック「社会問題を印刷で解決できない

か？ 新しく仕事を創るとは！

プリネクカップの投票集計は、スマートフォンにQRコードをかざすシステムで行われ、企画賞に東北ブロック、チームワーク賞に九州ブロック、達成賞に関東甲信越ブロック、最高賞である最優秀賞には東京ブロック（稲満信祐リーダー＝東京地協）が選出されました。

充実した一日となった PrintNext2018 ——最後は実行委員会メンバーが壇上に入り、山本実行委員長の挨拶にて名残惜しくも閉幕となりました。

SPACE-21

2.11 幹事会を開催

ジャグラ青年部 SPACE-21 は、PrintNext2018 の翌日となる2月11日、新大阪駅近くの貸会議室にて SPACE-21 幹事会を開催し、20名が参加しました。

×

幹事会冒頭、佐藤元代表幹事は前日の PrintNext2018 について、運営専務という大役を拝命して無事終えることができたこと、プリネクカップでは東京の稲満幹事がリーダーを務めた

東京ブロックが最優秀賞を受賞したことで SPACE-21 の存在を示すことができたことなどを振り返りました。その後、PrintNext2018 報告、全国協議会山梨大会の進捗、SPACE-21 東京総会の進捗、広報事業の報告、新ロゴについての審議、全国各青年部の活動報告、マーケティング委員会事業報告、東北ブロックが宮城県仙台市にて全国協議会を開催する件、幹事交代の報告、ひろく人を救う会の経過報告、今後のスケジュールについて確認を行い、最後は今期を以て幹事を退任する、宮崎幹事による閉会の挨拶で散会となりました。

(文：事務局・今田)

PrintNext2018



会場となった大阪市中央公会堂



親子で語ろう未来の印刷 左から作品展示、最優秀賞作品、表彰式にて：左から山本実行委員長・最優秀賞受賞の杉山京志郎くんとお父さん



プリネクカップ 発表の模様



プリネクカップ 東北ブロックのプレゼン



プリネクカップ 最優秀賞は東グラ・稲満リーダー（写真左）率いる東京ブロックが獲得



懇親会全景



懇親会 右から岡・滝澤・岸の各氏



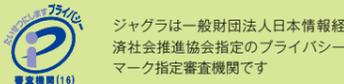
懇親会 挨拶する佐藤SPACE-21代表幹事

月刊 G S 2018 03

グラフィックサービス No.796

月刊「グラフィックサービス」796号

■発行日 平成30年3月10日(毎月1回)
 ■発行人 中村 耀
 ■編集人 早坂 淳
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
 TEL 03-3667-2271
 FAX 03-3661-9006
 WEB <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経
 済社会推進協会指定のプライバシー
 マーク指定審査機関です

■編集部 メール edit@jagra.or.jp

◎原稿 / 編集 / 校正

沖 敬三 守田 輝夫 長島 安雄
 酒井 玲子 並木 清乃 阿部奈津子
 今田 豪 (以上、ジャグラ事務局)
 斎藤 成 (東京グラフィックス / 広報委員)
 藤尾 泰一 (旬インフォ・ディー / 広報委員)
 日経印刷(株) (校正のみ)

◎組版 / デザイン (旬インフォ・ディー)

組 版 = Adobe CS6/CC
 フォント = モリサワ OTF ほか

◎印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)

RIP = 大日本スクリーン Trueflow
 CTP = 富士フィルム XP-1310R
 東レ TWL-1160F
 刷 版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
 ハイデルベルグ社 SORD
 インキ = DIC

用 紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
 ※本誌はFSC森林認証紙(管理された森林の木から作られた紙)とベジタブルインキ(環境配慮型インキ)を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。
<https://www.nik-prt.co.jp/>



Copyright 2018 JaGra / 禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
 また、原則 TM・®マークは省略しています
 ※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします



ジャグラ スケジュール表

2018.2

- 1日 SPACE-21 総会打合せ→谷口FACE 会長・事務局、ジャグラ次期年間スケジュール打合せ→中村会長・沖専務・事務局
- 2日 SPACE-21 石川セミナー(金沢)
- 6日 プライバシーマーク審査会
- 7日 Page2018 開会式→中村会長・吉岡理事、プライバシーマーク現地審査(愛知)
- 8日 プライバシーマーク現地審査(京都)、ジャグラコンテスト専門委員会議
- 9日 財政委員会、運営基盤戦略会議、GCJ 新年会
- 10日 PrintNext2018 →中村会長・SPACE-21 ほか
- 11日 SPACE-21 幹事会
- 20日 プライバシーマーク現地審査(神奈川)
- 21日 マーケティング委員会、日印産連環境優良工場表彰選考委員会→沖専務、日印産連価値創出委員会→沖専務
- 23日 広報委員会、ジャグラ BB 企画部会
- 26日 個人情報保護セミナー
- 27日 プライバシーマーク現地審査(千葉)、プライバシーマーク審査員研修

2018.3

- 1日 日印産連情報セキュリティ部会→野田理事
- 2日 POD 部会、日本プリンティングアカデミー卒業式
- 5日 次年度事業推進体制打合せ→沖専務ほか
- 7日 プライバシーマーク現地審査(都内)
- 8日 次年度事業推進体制打合せ→中村会長・沖専務ほか
- 14日 プライバシーマーク審査会、日印産連ステアリング・コミッティ→中村会長、JAGAT 理事会
- 15日 日印産連専務理事連絡会議→沖専務、東グラ理事会→沖専務、日本プリンティングアカデミー理事会、プライバシーマーク審査員研修
- 16日 広報委員会、プライバシーマーク現地審査(大阪)、ジャグラ文化典福岡大会実行委員会
- 22日 日印産連理事会→中村会長・菅野副会長、印刷図書館理事会
- 23日 理事会、岩下副会長お祝いの会

2018.4

- 2日 ジャグラコンテスト専門委員会議
- 4日 ジャグラ BB 企画部会
- 6日 ジャグラ作品展第一次・第二次審査会
- 9日 プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 10日 プライバシーマーク現地審査(大阪)
- 13日 ジャグラ作品展最終審査会
- 14日 日本自費出版ネットワーク理事会
- 17日 東グラ理事会→沖専務
- 19日 定期監査
- 20日 マーケティング委員会、ジャグラコンテスト会議、理事会
- 21日 教育・技術委員会、SPACE-21 総会(コニカミノルタジャパン(株)様)

編集後記

▼3.11 東日本大地震から7年が過ぎた。東日本大震災による全国の死者は1万5894人・行方不明者2562人となっている。さらに福島原発で多くの方が避難を余儀なくされていらっしゃる。復興の調べでは、避難者数は約7万3000人おり、全国47都道府県1054の市区町村に所在している。▼数字が一人歩きすることは危険だ。亡くなられた方、お一人おひとりの人生が一瞬にして消されてしまった。そして、原発は廃炉が決定したとは云え、かつてのフクシマには戻らない。震災復興が風化することのなきよう、また今も苦しい生活に甘んじておられる被災者にこれからもどう向き合っていけばよいのか? 日本人として深く胸に刻まなければならない。▼今も南海トラフ、富士山噴火……と様々な危機予測が寄せられている。業界として「災害は必ず来る」ことを想定し、BCP対応を忘れてはならない。

(H.S)

温孔知新

Topics

ジャグラのルーツである謄写印刷の話題をお届けします

ジャグラのルーツである謄写印刷(ガリ版)は、複製技術としてはだいぶ前に廃れたため、現在のジャグラ会員諸氏だけでなく、一般の方々にとっても余り近いものとは言えません。しかしながらガリ版の手書きの線に魅力を感じ、この古くて新しい技法を用いて創作活動を行うアーティストもいらっしゃいます。ここに紹介する神崎智子さんもその一人。先頃、東京池袋において「描く版画」と題した個展を開催しました。

×

個展は東京池袋のB-galleryにおいて1月25日~2月4日まで開催されましたが、期間中の1月27日にはパーティーとオーストリア在住のウエバ・ヒロコ氏によるピアノ演奏が、また翌28日にはギャラリー奥のスタジオでワークショップが行われるなど、作品展示だけに留まらない内容で謄写印刷の魅力をPRしたとのことでした。(写真参照)

■同展に寄せた神崎さんのコメント

私は謄写版(ガリ版)を用いて版画制作を行っています。作品中に度々登場する「うつわ」のシリーズを中心とした作品を発表しているのですが、この謄写版という制作技法はひたすら描いて製版するのです。この行為をうつわの絵付けに重ね合わせ、このタイトルにしました。今回の展覧会では日課の制作作品も同時に展示いたします。ハガキサイズの小さな作品ですが謄写版の表現を模索するため、様々な実験が施されています。そんな試作要素の強い作品ではありますが、庭、茶碗シリーズとは違う私の作品をぜひご覧ください。

..... 作者プロフィール

2006年、京都精華大学芸術学部版画専攻を卒業後、本格的に創作活動を開始。謄写版を用いた版画制作をメインに、国内外で作品を発表している。2013年、和歌山県立近代美術館「謄写版の冒険」への出品他、グループ展への参加多数。「技術ピックアップ講座 謄写版」(2015年、町田市立国際版画美術館)講師を務めるなどワークショップを各地で開催。東京在住。

- 2005 「日韓大学版画交流展」@ホインク大学/韓国
- 2007 「もうひとつの鏡展」@京都市国際交流会館/京都
- 2008 「ボタニカルニューボーンアートエキシビション招待作家展」@旧覚兵家住宅米蔵(登録文化財)/大阪泉佐野
- 2009 「2009, ASIA & RICE展」@韓国 sori(音)文化の殿堂 メインホール/韓国、全州)
- 2010 「AP Selection II展」@ART POINT /東京銀座
- 2011 個展「あかよろしあかよろしみよしの」@epokhe café /京都洛北
- 2013 「謄写版の冒険」@和歌山県立近代美術館/和歌山
- 2015 「坂田峰夫×根本佳奈×神崎智子3人展「Colors」」@ノンフィニート/東京曙橋
- 2015 「Mimeographer」@GALLERY SPEAK FOR /東京代官山
- 2016 「新・ガリ版の表現展」@ガリ版伝承館/滋賀近江八幡。第1回TKO国際ミニプリント展(東京→京都→大阪)入選
- 2017 「ガリ版の現代表現展」@ART FORUM JARFO/京都
- 2017 「版は異なるもの味なものを展 参加」@The Artcomplex Center of Tokyo /東京

神崎智子個展情報「pieces」

- 期間: 4.28~5.20 13:00-19:00 水曜休
- 場所: サロンモザイク(大阪市北区天神橋1-14-11)
- 詳細: <http://salonmosaic.info/>にて最新情報をご確認ください



月刊
グラフィックサービス
No.796
2018
03